

教会創立103周年

週 報

2025年9月14日 5359週

【今年度のテーマ・聖句】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讃美せよ—
わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数が多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。（ローマの信徒への手紙 12章4～5節）

巻頭言

牧師 加藤英治

敬老を憶える礼拝にあたって

私自身が、ようやく「年を取る」ということを語り得る年齢に至ったのかもしれない。「説教者が自分自身の生活が高齢化していることを認め、自分自身が高齢化の経験に心を開き、自分自身の生活が危うくなっている（実際にそうなのであるが）かのよう」に聞くならば、実際の説教は、はるかに恐ろしさの少ないものになる。——しばしば説教者と聞く人々との間に大きく開いている懸隔と深淵とが、いちじるしく狭められるからである。——説教者は、今や、おそらく説教壇から下におりてきて、教会の人々と一つの水準に立ち、教会の人々から集めた知恵を分かち合い、その知恵に神ご自身の言葉の洞察を吹き込む者となるであろう。そのとき、説教は、いくぶんユニモアをもつて、いくぶん涙をもよおすように、高齢の人の宝庫から語られるようになるであろう。」（W. J. カール J. E. 編『恵みにあふれて』より）そのような牧会と説教をして行きたいと願わされました。

そのような中で、特に心に残った言葉をご紹介します。「キリスト教の信仰告白の中心は、神がキリストと呼ばれるナザレのイエスに受肉したことである。この人間としてのイエスの命と生活のうちに、満ち満ちた神が喜んで住まわれた。人間に属するすべてのことが、神の命のうちに取り上げられている。この受肉を通して、神は、人間に属するすべてのことと、あらゆる人間とに、ご自分を同一視され、また連帯されていることを私たちは知ることができるのである。」（同上）「人間に属するすべてのこと」、その中には「年を取り、様々な弱さを経験し、最後は死んでいく」ことも含まれており、「あらゆる人間」には、この「私」もまた含まれているでしょう。イエス・キリストの神が、そのような道にある、このような「私」と、すべてを共にし、何事においても連帯し、常に共にいてくださるのです。「見よ、わたしは世の終わりに至るまで、いつもあなたがたと共にいるのである。」（マタイ28:20）

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax: 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 酒井光子姉
奏楽 小田ひかり姉

前 奏
招 詞 ヨハネ 13 : 3 ~ 5
頌 栄 6 6 7 (聖なるかな聖なるかな)
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 4 0 (わたしは良い羊飼い)
讃 美 4 8 7 (主は牧者なれば)
聖 書 ヨシュア 3 : 1 ~ 9、14 ~ 17
(新共同訳旧 342 p 口語訳旧 305 p)
祈 禱
子どもメッセージ 加藤英治牧師
讃 美 6 2 6 (主はいのちを与えませり)
聖歌隊
敬老祝福祈禱 加藤英治牧師
宣 教 「足を踏み入れ、
立ちとどまる方と共に」
加藤英治牧師
祈 禱
讃 美 5 0 4 (まごころもて)
献 金 祈り：畑間節子姉
(女性会 D 班)
頌 栄 6 7 1 (ものみなたたえよ (A))
祝 禱 加藤英治牧師
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」
(ローマの信徒への手紙
12 章 15 節)

今月の当番役員

木村正美 磯部みゆき

本日の集会

教会学校

幼小科
10 : 30 ~ 11 : 40
中高科、青年・成人科
9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付：船津丸泰 田中登美子
木村正美(当番役員)

お花：二木榮子

会堂清掃 11 : 50 ~ 12 : 05
各会例会 12 : 05 ~ 12 : 45

◎今週の集会(9月14日~9月20日)

<聖書> ヨシュア 20 : 1 ~ 9

17日(水) 祈禱会 I 10 : 30

(奨励：加藤英治牧師)

17日(水) 祈禱会 II 19 : 30

(奨励：加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

14日(日) ヨシュア 3 : 1 ~ 17	安武由美子
15日(月) 詩編 55 : 23	山内 真
16日(火) マルコ 4 : 35 ~ 41	山下一恵
17日(水) テトス 2 : 11 ~ 13	山下 玄
18日(木) 詩編 46 : 1 ~ 4	山下颯太
19日(金) I ヨハネ 4 : 10	山下 保
20日(土) ルカ 22 : 31 ~ 32	山下 湧